

## 愛知県 本宮山 早登り

愛知県の岡崎市(旧額田町)、豊川市(旧一宮町)、新城市(旧作手村)に頂を持つ本宮山(標高789m)にはいくつか登山道がありますが、豊川市長山の本宮山ウォーキングセンターから登るルートはハイカーに人気のコースで平日でも50台ほどの駐車場はいっぱいです。この本宮山登山に高い関心を寄せる三河OLCの内藤さんからのメールを記事にさせていただきました。1月9日に本宮山に行ってきました。登山記録が17年のものに更新されており、速登記録のトップになると「トロイデハース(17年のオリエンテーリング世界選手権選手として来日26分)」と表示されました。今までにそのような注が付いた例はなく、一般登山者に対してかなり大きな宣伝効果があると思います。

昨年までは松澤さんがトップだったわけですが、あまりに速いタイムであったのと一般登山者に対する知名度の無さからか、自己申告制なので嘘を申請できるから信用できないよ」といった声をよく聞きました。松澤さんの記録申請時に「オリエンテーリング競技の日本チャンピオンです」と書き添えておいたのですが、記録管理者の方に知らただけで一般登山者には知られることは有りませんでした。

今日もまた「1位は本当らしいけど」2位の松澤というのはわからんよ」と言われてましたので、「いや、彼もオリエンテーリングの選手ですよ」と教えておきました。私と2、3のやりとりのあと最後は「豊川工高の生徒は24分や25分で登ってるよ。申請はしないけどね」などと負け惜しみっぽい事も言っていました。

まあ、そういう記録が申請されれば、また松澤さんが頑張ってくれると思いますから意に介しませんでしたけど...。それから、もう一つ目新しい記録としては、暮れにもう一人の1日10回登山者が誕生したようです。1日の登山回数記録の方も更新すればかなりのインパクトがあると思います。

とにかく、あの記録表に「オリエンテーリング」の文字が入ったのは素晴らしい事だと思います。

こいつは春から縁起が良いかも?

(三河OLC 内藤ヒロオさん)

## 米寿までがんばるぞ

昨年は、春は富士の全日本大会、猛暑を凌いだWOC併設、黄葉に染まった湖東の西日本の三大会などに参加。体力は峠を超え、駿(げん)のよい早大は厳寒のころで遠慮した。しかしクラブが主管する大会運営だけは欠かされないの、フル出場している。さて今年は成年、全日本大会参加者をみると、60.70.80歳台は年毎に増えているのに、第一回の大会この方30年間競

い合ってきたそれぞれのクラスでの仲間たち、齢を重ねるたびにひとり、ふたりと姿を消して昨今、80台はわずは4名に過ぎない。今年、私もM80は本格的な節目の年、体力こそ老いてきたが心と技はまだまだ十分。健康と安全第一に陽春の矢板全日本はもちろん、東や西はいずこやら、東大に山形さくらんぼ大会へ都合がつけば臨みたい。

(OL 北九州から北九州 OLC 今留康雄さん)

## エレンさん石川健民祭を走る

「タノシカッター」。メガネ越しの碧い瞳がニコリ笑った。無造作にかき上げた金髪はキラキラひかる。すばらしいボディバランスの長身に、ピンクのユニフォームがよく似合う。「小松は初めてです。今朝早く岐阜市から高速道を走ってきました。待っていていただいてゴメンナサイ」

アメリカはカルフォルニアの生まれ。ハイスクール時代から始めたオリエンテーリングは、この道15年のキャリア。今は岐阜市内の幼稚園で先生をしている子供好き人間。確かな日本語で、だれかれとな話かける日本通である。世界選手権期間中母国アメリカチームの選手たちと寝食をともし、「ボランティアでオテツダイシタカッター」と、嬉しそうに話してくれた。

「深い藪が数箇所あり、走行ムツカシカッター。新しい道や住宅街が地図にカテナカッター?。森の中なのに潮のようなニオイをカンジタ。ナゼデシヨ?」と訊ねられた。一瞬、この言葉に新鮮な驚きを覚え、匂いについて愚考してみた。匂いは古語で「丹秀ひ」と書く。もともとは、色が美しく映えるという意味である。やがて中世以降、よい香りが立つという意味に用いられるようになった。色も香りも、姿も心も美しいということである。国を超え、民族を超え、世代を超えて行動する彼女は、日本海の匂を感じたに感じたに違いない。憩いの森に「丹秀ひ」を遣わし、遠来の客は還っていった。「アリガトウマタキマス」。

(OL いしかわ2005年11月号から)

ご本人および機関紙発行クラブの了解の上掲載させていただきます。

(小野 盛光)